

令和4年2月25日

安芸市福祉事務所  
所長 山崎美佳 様

安芸市立安芸おひさま保育所  
所長 川久保二美



## 令和3年度 安芸おひさま保育所園評価報告書

### 1. 保育所における自己評価の記録

月	自己評価
4月	○園経営計画の作成 ○本年度の重点目標の設定 ○園評価項目・指標の設定 ○職員への園経営計画・園評価計画の説明と共通理解
8月	○保護者への園経営計画・園評価計画のお知らせ
8月	○中間評価の実施（職員の自己評価・園の自己評価）
9月	○設置者への報告、改善策の検討
11月	○保護者へのアンケート実施
1月	○保護者アンケート集計・分析 ○最終評価（職員の自己評価・園の自己評価）
2月	○保護者、設置者への報告、改善策の検討

### 2. 評価結果について

〈成果〉

#### ① 保育・教育活動の充実

子どもの主体的な学びを保障するための環境構成に努め、「材料・道具の積極的な提示」では、年齢・発達を考慮し、子どもたちが興味・関心の持てる教材を提示してきた。

#### ② 職員の育成・資質向上や運営

安全環境を整えるために全職員でマニュアルやガイドラインに沿って学習を行い取り組んでいる。全職員が研修に積極的に参加し研修内容を保育に活かしている。

#### ③ 地域に開かれた園づくり

保護者と、子どもを中心にした話をする中で信頼関係もでき、色々な話ができてきている。保護者からの意見を保育に活かしている。行事や交流では、新型コロナウイルスの関係で、できないこともあったが、様々な工夫をしながら取り組んできたことには一定の成果も見られた。

〈課題・主な改善策〉

- ① 引き続き様々な素材や遊具を研究し、子どもたちの想像力を膨らませる教材を提供していきたい。新型コロナウイルスや気候、児童数の関係等からスペースの配分や遊びに工夫が必要だった。今後、更に遊びが発展していくように関わり方や環境構成について職員間で検討し取り組んでいきたい。
- ② 研修については、新型コロナウイルスの為、自園で計画していた親支援研修が中止となった。他の研修もオンデマンド形式や内容の変更等があったが、今後予定している園内研修も含め自分たちでより良い学びを工夫し、日々の保育に活かせるものとしていきたい。
- ③ 保護者アンケートに寄せられた保育所や保育者に対しての指摘や要望については、真摯に受け止め改善に向けて取り組んでいきたい。

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆ 保育・教育活動の充実	表現する楽しさや喜びが実現できる教材開発と環境づくり	[教材開発] 保育室内外の材料・道具の積極的な提示	4 月1回以上	3.4	4 半数以上の子どもが、担任が提示した素材や遊具を自分たちの遊びに活用して遊ぶ	3.6	それぞれの年齢の発達を考慮し、子どもたちが何に興味・関心を持っているのかを理解した上で教材を提示してきた。また、季節や行事に応じた教材の提示をすることで子どもたちがイメージを膨らませじっくりと遊ぶことが出来ている。身近な素材を遊びの中に取り入れたり、手作りおもちゃを製作したりしている。担任が提示した素材や遊具を使って十分遊び込めるよう他の職員も関わりを持ち、一緒に遊びを盛り上げている。こうした遊びを子どもたちが更に工夫して膨らませていけるようにしていきたい。
		3 月1回程度	3 半数以上の子どもが担任が提示した素材や遊具を使って遊ぶ				
2 2ヶ月に1回程度	2 半数以上の子どもが担任と一緒に素材や遊具を使って遊ぶ						
1 学期1回程度	1 半数以上の子どもが担任が提示した素材や遊具に興味をもって触れてみる						
		[環境構成] 子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う	4 他クラスの活動や保育の中で大切にしていることを知り、保育の環境構成の設定や調整をする	3.4	4 自分たちが始めた遊びを発展させながら遊びを繰り返すようになった子ども 75%以上	3.3	保育者が提案した遊びだけでなく、子どもたちから遊びが生まれ、発展していくような言葉掛けや環境構成を心掛けて保育を行っている。遊びの中でなりきって遊んだり、イメージを膨らませて友だちと一緒に楽しむ姿が見られる。共通のイメージを持ち子ども同士がつながって楽しむことができている。保育室や廊下の壁面等園全体の環境構成を職員間で考える。季節や活動に合わせた環境構成をすることで子どもたちが意欲的に遊びに向かえるように取り組んでいる。
		3 季節やその時期に大切にしたいこと等を踏まえ、子どもの感性をくすぐるような壁面等、環境を整える	3 65%以上				
		2 子どもの活動や活動の状況に応じて環境の再構成を行う	2 50パーセント以上				
		1 一日の活動に必要な遊具・用具、素材等の準備する	1 50パーセント未満				
◆ 職員の育成・資質向上や運営	職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る	[安全管理] 子どもが安心して過ごすことができる安全環境を整える	4 安全管理を意識し園が作成した様々なマニュアル・ガイドラインを理解し、より安全に安心して生活できる環境を工夫する	3.4	4 園全体の安全管理をし、子どもがより安全に安心して生活できる環境を工夫している 90%以上	3.3	年度初めに全職員でマニュアルやガイドラインに目を通す。安全に生活できる環境について確認し自園におけるヒヤリハットの学習をする。アナフィラキシーショック対応のエビペンの演習やAEDの講習を全職員で行う。ノロウイルス等の感染症対応として玩具・保育室の消毒を徹底する。プール遊び前には職員間で監視体制の徹底を確認する。熱中症対策としてこまめな水分補給や帽子の着用、保育室の室温管理をする。新型コロナウイルス感染症対策として毎日の検温や石けん手洗、玩具の消毒、保護者にマスク着用、手指消毒を呼びかけている。
			3 安全管理を意識し、園が作成したマニュアル・ガイドラインを理解し、それに沿った環境を整える		3 75%以上		
	2 園が作成したマニュアル・ガイドラインを理解する	2 50パーセント以上					
	1 園が作成したマニュアル・ガイドラインを知る	1 50パーセント未満					
		[研修] 研修内容を共有し職員が協力して課題に取り組む	4 研修内容を共有して課題を出し合い、全職員が協力して課題に取り組む保育を向上させていく	3.5	4 研修内容を話し合い協力して保育の実施向上することができる	3.6	各種研修に積極的に参加する職員が多く、研修で習得した内容は職員間で共有してきた。研修で学習することは自分の保育を振り返り、課題を見つける機会となり日々の実践につながっている。新採研修や基礎研修において園内研修を実施し、できるだけ多くの職員が参加できるようにしてきた。日案の検討や保育の協議を職員間で行う等、園全体でのスキルアップを図ってきた。
		3 研修内容を共有し、協力して課題に取り組む	3 保育の課題を共有し課題に取り組む				
		2 定期的な職員会や必要に応じて会議を行い課題を出し合う	2 職員会を開き職員同士課題を共有する				
		1 回覧や口頭で知らせる	1 研修内容を職員会で知らせる				
◎ 地域に開かれた園づくり	保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり	[保護者との連携] 保護者を対象とするアンケート結果から保育を考える	4 結果を公表し保育を見直し改善する	3.6	4 園評価について取り組みを理解してくれる人 75%以上	3.7	保護者アンケートを実施し内容を全職員で共有する。改善すべき点については改善策を考え、より良い保育を目指して取り組んでいるところである。アンケート結果からは、1日頃の保育に理解を示してくれる保護者が多く、嬉しく感じている。今後、更に保育の質の向上や保護者理解に向けて引き続き努力していきたい。
			3 アンケートを実施する		3 65%以上		
	2 園の取り組み・内容を説明する	2 50%以上					
	1 園評価に取り組むことについて説明する	1 50%未満					
		[保護者への支援] 在園児の保護者に対して子育て支援する	4 保育の情報を分かりやすく発信する	3.5	4 子育ての中で感じる喜びや不安、悩みをよく話してくれる保護者 75%以上	3.6	登降所時には保育所での様子を丁寧に知らせることで保護者との信頼関係を築くよう心掛けてきた。園便り・クラス便り・行事等で園の取り組み内容やねらいを発信してきた。後期にはクラス懇談会を実施し、子どもの成長を伝えてきた。そうしたことにより保護者も育児を楽しめることができ、成長を感じられると喜んでくれている。また、子育ての悩みや相談には真摯に向き合い、保護者の思いを受け止め子どもの成長を共に喜び合える関係を心掛けている。
		3 子どもの様子、子育てについて連携・共有できる機会を設ける	3 50%以上				
		2 必要に応じて、話をする	2 35%以上				
		1 保護者に進んで挨拶したり話しかける	1 35%未満				